

土から生まれた草・木・花

親子で楽しむ やきものの植物園

プレス・リリース

平成27年7月18日（土）－9月6日（日）



北大路魯山人「雲錦手大鉢」1940年代
茨城県陶芸美術館寄託



もりおくん



リーフちゃん

〒309-1611
茨城県笠間市笠間 2345 番地
(笠間芸術の森公園内)

茨城県陶芸美術館

TEL0296-70-0011/FAX0296-70-0012
<http://www.tougei.museum.ibk.ed.jp/>

1 展覧会名

土から生まれた草・木・花 親子で楽しむ やきもの植物園

2 開催趣旨

A：一言でいうと（73W）

夏休み期間中、親子で楽しめる展覧会です。植物のモチーフを取り入れた近代から現代までの陶芸作品 75 点を紹介するとともに、様々な参加型イベントも開催します。

B：もう少し丁寧にいうと（182W）

植物は、その美しさや生命感、季節ごとの風情が好まれ、陶芸作品のなかにも多く取り入れられてきました。本展では、植物をモチーフにした陶芸作品 75 点を、うつわの表面に植物の姿をあらわしたものと、作品のかたちそのものであらわしたものの、2つの章にわけてわかりやすく紹介していきます。また、親子で楽しめる展覧会として、陶芸作品の魅力に迫る様々な参加型イベントも開催します。

C：詳細にいうと（510W）

茨城県陶芸美術館では、夏休み中の子どもたちに陶芸作品に親しんでもらうため、昨年度より「親子で楽しむ」というコンセプトの展覧会を開催しています。2回目となる本年は、「やきもの植物園」として、植物をモチーフにした陶芸作品を展示します。

植物は、その美しさや季節ごとの風情が好まれ、皿や壺といったうつわの伝統的な絵柄に多く用いられてきました。また、現代作家の陶の造形表現には、植物のもつ生命感や魅力的なフォルムから影響を受けた作品も数多くみられます。

本展では、植物を題材にした、さまざまな技法と表現を用いた 75 点の作品を、植物の姿を描く、彫るなどしてうつわの表面にあらわしたものと、作品の「形」そのものに反映させたものの、2つの章により紹介します。植物のイメージが、陶芸ならではの表現や質感とどう結び付けられているか、またそれらはどのように作られたのかなどについて紹介し、植物をモチーフにした陶芸作品の魅力に迫ります。

会期中には当館で「全国こども陶芸展」が開催されます。併せて開催中の「新収蔵品展」にも、来館した子どもたちが足を運んで楽しめるような“しかけ”を設け、全館挙げてのサマーイベントを展開いたします。

3 展示構成

出品総数 75 点 ※会場の都合により、若干点数が変わることがございます。予めご了承ください。

第Ⅰ章 植物で飾られたうつわ

- I - 1 うつわ華やぐ 色とりどりの植物
- I - 2 一色でみせます 植物の“しぶ〜い”魅力
- I - 3 どんどん増える！植物もよう くりかえしのリズム

第Ⅱ章 植物のかたちをしたやきもの

- Ⅱ - 1 咲いた、咲いた。花の形のうつわ
- Ⅱ - 2 新種発見！？土から生まれた“やきもの植物”

4 主な作品(作品キャプション)

- ① 板谷波山「彩磁八ツ手葉文鉢」大正初期 茨城県陶芸美術館所蔵
- ② 北大路魯山人「雲錦手大鉢」1940 年代 茨城県陶芸美術館寄託
- ③ 富本憲吉「色絵金銀彩菱四弁花蓋付飾壺」1962 年 茨城県陶芸美術館所蔵
- ④ 近藤悠三「柘榴染付皿」1978 年 茨城県陶芸美術館寄託
- ⑤ 原 清「鈎窯輪花鉢」1990 年 茨城県陶芸美術館所蔵
- ⑥ 原 清「翠磁瓢形刻文花瓶」1993 年 茨城県陶芸美術館所蔵
- ⑦ 久米みどり「墨色古代花」2011 年 茨城県陶芸美術館所蔵
- ⑧ 神田樹里「志向」2014 年 茨城県陶芸美術館寄託

※ プレスリリース用の写真データ

広報担当の E-Mail アドレスまで連絡いただければ、すぐにデータをお送りいたします。なお、写真を掲載する際には、作品キャプションを必ず併記してください。

広報担当：中島 E-Mail

kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

5 会期・会場等

会 期：平成 27 年 7 月 18 日(土)～9 月 6 日(日) (51 日間)

会 場：茨城県陶芸美術館 企画展示室 (地下 1 階)

開館時間：午前 9 時 30 分から午後 5 時まで (入場は 4 時 30 分まで)

休 館 日：毎週月曜日(ただし 7 月 20 日(月・祝)は開館、21 日(火)休館)

6 主催・講演・協賛等

主 催：茨城県陶芸美術館

協 賛：筑波銀行

7 観覧料

一般 310(260)円 高大生 260(210)円 小中生 150(120)円

* () 内は 20 名以上の団体料金。満 70 歳以上の方、障害者手帳、療育手帳をお持ちの方及び付き添いの方(ただし 1 人につき 1 人まで)は無料。7 月 18 日(土)・8 月 29 日(土)・9 月 5 日(土)は高校生以下無料。

8 関連催事等

▼「美術館を植物園にしよう！」ワークショップ（展覧会チケットが必要です）

日 時：平成 27 年 8 月 1 日（土）～8 月 7 日（金）※左記期間中、随時開催します。

場 所：B1F オープンギャラリー

内 容：窓ガラスに葉っぱの柄の透明シートを貼っていき、美術館内を植物もようでいっぱいにしていく、期間中随時参加可能なワークショップです。

▼申込制ワークショップ（展覧会チケットが必要です）

①「練上技法で植物もようのうつわをつくろう」ワークショップ※定員に達し応募締切となりました。

日 時：平成 27 年 8 月 8 日（土） 午前の部 10：00～12：00／午後の部 13：30～15：30

内 容：紙粘土を使って「練上」の技法を体験し、鮮やかなうつわをつくるワークショップ。

②「紙でデザインしよう！植物のうつわ」ワークショップ

日 時：平成 27 年 8 月 22 日（土） 午前の部 10：00～12：00／午後の部 13：30～15：30

内 容：植物のうつわのデザイン画を描き、それを紙のうつわに絵付けするワークショップです。

場 所：B1F オープンギャラリー

対 象：小・中学生（小学 4 年生以下は保護者の同伴が必要です）

定 員：各回 20 名程度（事前申込制）

▼植物の絵皿 デザインコンテスト

応募期間：平成 27 年 7 月 1 日（水）～8 月 6 日（木）

参加資格：小・中学生

入選者の発表等／平成 27 年 8 月 7 日（金）

※当館より入選者へ直接ご連絡します。入選した方は、8 月 16 日（日）の絵付け体験に参加し、描いたデザインを本物のお皿に青色の絵の具（呉須）で描くことができます。お皿は後日焼成し、8 月 29 日（土）の表彰式にてお渡しします。

応募方法／当館ホームページから応募用紙をダウンロードし、青色色鉛筆もしくは青色ペンで植物をモチーフとした絵皿のデザインを描き、当館会場内の応募箱に投函してください。なお、応募用紙は館内にも用意してあります。来館時に作成し応募することも可能です。

○親子で楽しむギャラリートーク（展覧会チケットが必要です）

日 時：平成 27 年 7 月 25 日（土）／8 月 15 日（土） 13：30～

内 容：担当学芸員が展覧会をご案内します。

7 連絡先

茨城県陶芸美術館 〒309-1611 笠間市笠間 2345 番地 TEL.0296-70-0011 / FAX.0296-70-0012

担当学芸員：名村実和子 副担当学芸員：今瀬佐和 広報担当：中島 淳

※ プレスリリース用の写真データ

広報担当の E-Mail アドレスまで連絡いただければ、すぐにデータをお送りいたします。なお、写真を掲載する際には、「4 主な作品」の作品キャプションを必ず併記してください。

広報担当：中島 E-Mail kouhou@tougei.museum.ibk.ed.jp

